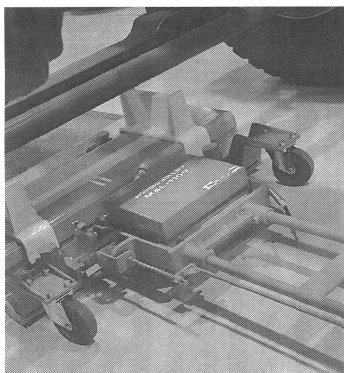


「L-1200spec2」と開発者の竹内優作さん

「L-1200spec2」と開発者の竹内優作さん

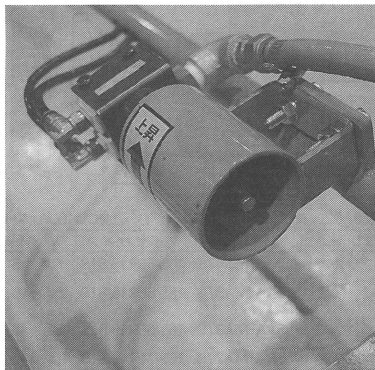
自動芯出し機構を装備したホイールバランス用タイヤリフト「L-1200 spec2」と、移動式で取り回し性を向上させた移動式エアリフト「MAL-1100」だ。その特長についてレポートする。



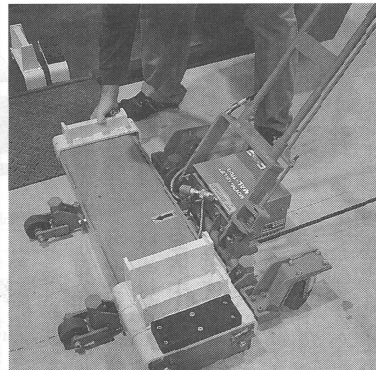
移動式の新リフト「MAL-1100」

移動式の新リフト「MAL-1100」

また、「通常のジャッキとジャッキアップポイントにリジッドラックや馬を噛ませてジャッキアップし、その後タイヤ



操作性の良い切り替えバルブ



アタッチメント取り付けも簡単

小野谷機工の新商品

タイヤリフト「L-1200-spec2」 移動式エアリフト「MAL-1100」

小野谷機工は、軽労化と作業の効率向上に貢献する新商品2機種を発売開始した。自動芯出し機構を装備したホイールバランス用タイヤリフト「L-1200 spec2」と、移動式で取り回し性を向上させた移動式エアリフト「MAL-1100」だ。その特長についてレポートする。

作業者にとってホイールバルancerの軸にタイヤをセットする作業は、かなりの負担になる。それを軽労化するために開発されたのがタイヤリフト。リフトの昇降、リフト台のスライドなどの機能で作業者の負担を軽減してきた。「L-1200 spec2」の最大の特長は、自動芯出し機構の導入である。竹内さんは、「これまでの作業では作業者がバランス主軸部に高さを合わせるため、主軸部をのぞき込んで高さを確認しつ

つ、リフトの高さを微調整する作業が必要でした。しかしこの新商品は、タイヤ径の大きさに関わらず、自動的に主軸部の芯出しができるので、作業者にとってはひと手間省けるということだ。軽労化につながり「した」と語る。

実際に作業を見せると「L-1200 spec2」はスリムでスタイリッシュな外觀、側面にコロン掛け、ハンドバルブも程よい高さで設置され作業性もよさうだ。

リフト台にタイヤを投入すると、台の隅に設置された「タイヤ当たり」の影響で、ホイールがリフトに干渉する不安が軽減される。ハンドバルブを上に操作すると台が上昇、その際に威力を発揮するのが自動芯出し機構。機械内部のシンターチェーンが連動している効果で、台の上昇に比例して上方のバーが下降し、ちょうどバランス主軸部とホイールハブ穴の位置が必ず合う高さ

移動時の取り回しが容易でリフトアップのポイント合わせが簡単に行えます。また、弊社従来品の埋め込み式のリフトと違い、大規模な施工工事が必要と「しません」と語る。

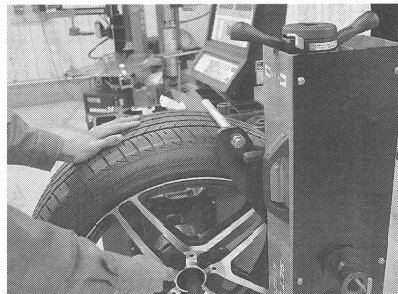
アタッチメントは互換の種類によって使い分け、高さは35ミリ、60ミリ、110ミリの3種類用意。取り付けも簡単で、移動ですぐに作業が可能、位置合わせも簡単だ。

また、「通常のジャッキとジャッキアップポイントにリジッドラックや馬を噛ませてジャッキアップし、その後タイヤ交換することになります。リフトをリジッドラックや馬は不要です。こうした点も作業しやすさ、軽労化というものにつながっていると思います」と武澤主任は語る。

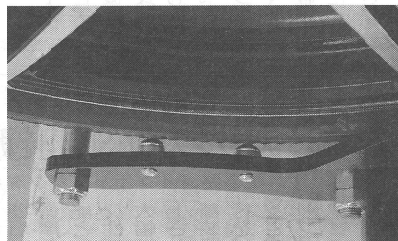
リフトの上昇、下降はスプリングリターン式の切り替えバルブ操作で行

新型タイヤリフト「L-1200 spec2」の解説してくれたのは、開発者である同社商品開発本部の竹内優作さん。

作業者にとってホイールバルancerの軸にタイヤをセットする作業は、かなりの負担になる。それを軽労化するために開発されたのがタイヤリフト。リフトの昇降、リフト台のスライドなどの機能で作業者の負担を軽減してきた。「L-1200 spec2」の最大の特長は、自動芯出し機構の導入である。竹内さんは、「これまでの作業では作業者がバランス主軸部に高さを合わせるため、主軸部をのぞき込んで高さを確認しつ



バーがタイヤを挟み込む自動芯出し機構



タイヤ当たりがホイールの干渉を防止

手元で簡単に操作するだけで作業者にとってはいは扱いやすい。

リフトを上昇させると自動的に下降防止安全ロックがかかるため、下降の動作をしない限り、作業中にリフトが下降することもなく安全だ。

需要については「すでに埋め込み式のリフトを設置しているお客様なら不要と思われませんが、リフトをお持ちでないプロショップや運送会社様などには需要があるとおもいます」とのこと。

移動式なので作業が簡単、豊富なアタッチメントで安定感も十分。こちらも戦力になりそうな新商品である。

新機能の搭載で さらに軽労化に貢献

さらに軽労化に貢献

リフトをスライドさせて降させる。後は取り付けナットを締めしつかり固定し、バランス測定を行う。微調整の必要がないため作業者にとっては実に容易に作業できる。

測定終了後はリフトをトトラックから大型トラ

移動式エアリフト「MAL-1100」は、同規模な施工工事が必要と「しません」と語る。

アタッチメントは互換の種類によって使い分け、高さは35ミリ、60ミリ、110ミリの3種類用意。取り付けも簡単で、移動ですぐに作業が可能、位置合わせも簡単だ。

また、「通常のジャッキとジャッキアップポイントにリジッドラックや馬を噛ませてジャッキアップし、その後タイヤ